獣医学教育評価

分科会報告書

申請大学名

主　査

**１　使命・目的**

＜獣医学教育（学士課程）の目的の設定、周知・公表＞

【評価の視点1-1】当該獣医学教育（学士課程）を設置する大学の理念・目的に沿って、獣医学教育（学士課程）の目的を定めていること。

【評価の視点1-2】獣医学教育（学士課程）の目的を学生、教職員に周知していること。

【評価の視点1-3】獣医学教育（学士課程）の目的をウェブサイト、大学案内等を通じて、広く社会に公表していること。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 評価の 視点 | 自己評価結果 | 評価者による評価結果 | | 自己評価と第三者評価判定が一致しない理由 書面再評価を必要とする理由 |
| 評点 | 評点  ・保留 | 書面 再評価 |
| 1-1 | 3 | 3 |  |  |
| 1-2 | 3 | 3 |  |  |
| 1-3 | 2 | 保留 | ○ | ウェブサイトと大学案内との記述に差異 |

**＜概　評＞**

**＜提　言＞**

　（１）長所

　（２）特色

　（３）検討課題

　（４）勧告

**＜質問事項＞**

**＜実地調査の際に閲覧を希望する資料＞**

**２　教育課程・学習成果**

**（１）教育課程**

＜学位授与方針、教育課程の編成・実施方針の設定、公表＞

【評価の視点2-1】獣医学教育（学士課程）の目的に基づき、修得すべき知識・技能・態度など獣医学（学士）の学位にふさわしい学位授与方針を定めていること。

【評価の視点 2-2】学位授与方針を公表していること。

【評価の視点2-3】学位授与方針に基づき、教育課程の体系、教育内容、教育課程を構成する授業科目区分、授業形態等を示した教育課程の編成・実施方針を定めていること。

【評価の視点 2-4】教育課程の編成・実施方針を公表していること。

＜教育課程の編成＞

【評価の視点 2-5】教育課程の編成・実施方針に基づき、教育課程を体系的に編成していること。

【評価の視点 2-6】モデル・コア・カリキュラムの内容を網羅した講義内容であること。

【評価の視点 2-7】モデル・コア・カリキュラムの実習内容を実施していること。

【評価の視点 2-8】教員の監督指導の下で適正に実習を実施していること。

【評価の視点 2-9】講義と関連した実習を行う場合、それらが連動して行われていること。

【評価の視点2-10】獣医師の資質を涵養する教育を行っていること。

【評価の視点2-11】総合参加型臨床実習を実施する際は、学生に対し客観性のある適正な事前評価（共用試験）を実施していること。

【評価の視点2-12】モデル・コア・カリキュラムの内容に従い実践的能力を涵養する総合参加型臨床実習を実施していること。

【評価の視点2-13】動物死体を活用した解剖学教育を適正に実施していること。

【評価の視点2-14】動物死体を活用した病理学教育を適正に実施していること。

【評価の視点2-15】獣医学教育（学士課程）の目的や社会的要求に応じたアドバンス講義科目を開講しているか。

【評価の視点2-16】特別研究（卒業研究）を実施していること。

【評価の視点2-17】適切な実地研修（インターンシップ）を実施しているか。

＜教育方法＞

【評価の視点2-18】学生が授業科目を体系的に履修できるよう、履修指導を適切に行うとともに、カリキュラムツリー又はカリキュラムマップなどを整備していること。

【評価の視点2-19】シラバスにおいて、授業科目ごとに全体目標、授業概要、成績評価基準・方法等を明示していること。

【評価の視点2-20】シラバスの記載内容を改善する仕組みがあること。

【評価の視点2-21】厳格かつ適正な成績評価及び単位認定を行っていること。

【評価の視点2-22】成績評価に対しての学生からの異議申立制度を整備していること。

【評価の視点2-23】適切な進級要件を設定し、学生に周知していること。

【評価の視点2-24】適切な卒業要件を設定し、学生に周知していること。

＜共同教育課程等に伴う教育方法＞（該当大学のみ）

【評価の視点2-25】コア科目に関して、Information and Communication Technology（ＩＣＴ）による遠隔教育の効果を検証し、改善を図っていること。

【評価の視点2-26】コア科目に関して、学生移動による効果を検証し、改善を図っていること。

【評価の視点2-27】コア科目に関して、教員移動による効果を検証し、改善を図っていること。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 評価の 視点 | 自己評価結果 | 評価者による評価結果 | | 自己評価と第三者評価判定が一致しない理由 書面再評価を必要とする理由 |
| 評点 | 評点  ・保留 | 書面 再評価 |
| 2-1 |  |  |  |  |
| 2-2 |  |  |  |  |
| 2-3 |  |  |  |  |
| 2-4 |  |  |  |  |
| 2-5 |  |  |  |  |
| 2-6-1 |  |  |  |  |
| 2-6-2 |  |  |  |  |
| 2-7 |  |  |  |  |
| 2-8 |  |  |  |  |
| 2-9 |  |  |  |  |
| 2-10 |  |  |  |  |
| 2-11 |  |  |  |  |
| 2-12 |  |  |  |  |
| 2-13 |  |  |  |  |
| 2-14 |  |  |  |  |
| 2-16 |  |  |  |  |
| 2-17 |  |  |  |  |
| 2-18 |  |  |  |  |
| 2-19 |  |  |  |  |
| 2-20 |  |  |  |  |
| 2-21 |  |  |  |  |
| 2-22 |  |  |  |  |
| 2-23 |  |  |  |  |
| 2-24 |  |  |  |  |
| 2-25a |  |  |  |  |
| 2-25b |  |  |  |  |
| 2-25c |  |  |  |  |
| 2-25d |  |  |  |  |
| 2-25e |  |  |  |  |
| 2-26a |  |  |  |  |
| 2-26b |  |  |  |  |
| 2-26c |  |  |  |  |
| 2-26d |  |  |  |  |
| 2-27a |  |  |  |  |
| 2-27b |  |  |  |  |
| 2-27c |  |  |  |  |
| 2-27d |  |  |  |  |

**＜概　評＞**

**＜提　言＞**

　（１）長所

　（２）特色

　（３）検討課題

　（４）勧告

**＜質問事項＞**

**＜実地調査の際に閲覧を希望する資料＞**

**（２）学習成果**

＜学習成果の測定＞

【評価の視点2-28】学位授与方針に示した知識、技能、態度等の学生の学習成果の修得状況を把握し、評価していること。

＜国家試験、卒後の進路＞

【評価の視点2-29】新卒者の獣医師国家試験の合格率が80％以上であること。

【評価の視点2-30】卒業生の進路状況・活躍状況を把握していること。

【評価の視点2-31】獣医師国家試験合格者の進路が獣医学に関連していること。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 評価の 視点 | 自己評価結果 | 評価者による評価結果 | | 自己評価と第三者評価判定が一致しない理由 　　書面再評価を必要とする理由 |
| 評点 | 評点  ・保留 | 書面 再評価 |
| 2-28 |  |  |  |  |
| 2-29 |  |  |  |  |
| 2-30 |  |  |  |  |
| 2-31 |  |  |  |  |

**＜概　評＞**

**＜提　言＞**

　（１）長所

　（２）特色

　（３）検討課題

　（４）勧告

**＜質問事項＞**

**＜実地調査の際に閲覧を希望する資料＞**

**３　学生の受け入れ**

＜学生の受け入れ方針の設定、公表＞

【評価の視点 3-1】獣医学教育（学士課程）の目的に基づき、入学前の学習歴・知識水準・能力などの求める学生像、入学希望者に求める水準等の判定方法を示した学生の受け入れ方針を定めていること。

【評価の視点 3-2】学生の受け入れ方針を公表していること。

＜入学者選抜、定員管理＞

【評価の視点 3-3】学生の受け入れ方針に従って、適正に学生を受け入れていること。

【評価の視点 3-4】多様な入試制度により、多様な志願者層に積極的に門戸を開いていること。

【評価の視点 3-5】入学定員を適正に管理していること。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 評価の 視点 | 自己評価結果 | 評価者による評価結果 | | 自己評価と第三者評価判定が一致しない理由 　　書面再評価を必要とする理由 |
| 評点 | 評点  ・保留 | 書面 再評価 |
| 3-1 |  |  |  |  |
| 3-2 |  |  |  |  |
| 3-3 |  |  |  |  |
| 3-4 |  |  |  |  |
| 3-5 |  |  |  |  |

**＜概　評＞**

**＜提　言＞**

　（１）長所

　（２）特色

　（３）検討課題

　（４）勧告

**＜質問事項＞**

**＜実地調査の際に閲覧を希望する資料＞**

**４　教員・教員組織**

＜教育研究に関する組織＞

【評価の視点 4-1】教員組織の編制方針を定めていること。

＜教員組織＞

【評価の視点 4-2】専任教員を中心に、獣医学教育（学士課程）に必要な教員を確保していること。

【評価の視点 4-3】専任教員を分野ごとに適正に配置していること。

【評価の視点 4-4】コア科目の実施にあたり、専任教員が適正に配置されていること。

【評価の視点 4-5】アドバンス科目の実施にあたり、適正な担当者で実施されていること。

【評価の視点 4-6】専任教員の構成（獣医師免許保有状況、年齢、男女比）が適切であること。

＜教員の募集・任免・昇格＞

【評価の視点 4-7】専門性に配慮した教員任用に関する公正な基準を設定していること。

【評価の視点 4-8】教員の任用に際して、透明性のある手続等を定めていること。

＜教員の責務と資格＞

【評価の視点4-9】専任教員のコア科目に関する講義負担が過度とならないよう配慮していること。

【評価の視点4-10】専任教員のコア科目に関する実習負担（参加型臨床実習を除く）が過度とならないよう配慮していること。

【評価の視点4-11】教員の資質向上を図るために組織的かつ多面的にＦＤ活動に取り組んでいること。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 評価の 視点 | 自己評価結果 | 評価者による評価結果 | | 自己評価と第三者評価判定が一致しない理由 　　書面再評価を必要とする理由 |
| 評点 | 評点  ・保留 | 書面 再評価 |
| 4-1 |  |  |  |  |
| 4-2 |  |  |  |  |
| 4-3 |  |  |  |  |
| 4-4 |  |  |  |  |
| 4-5 |  |  |  |  |
| 4-6a |  |  |  |  |
| 4-6b |  |  |  |  |
| 4-6c |  |  |  |  |
| 4-7 |  |  |  |  |
| 4-8 |  |  |  |  |
| 4-9 |  |  |  |  |
| 4-10 |  |  |  |  |
| 4-11-1 |  |  |  |  |
| 4-11-2 |  |  |  |  |

**＜概　評＞**

**＜提　言＞**

　（１）長所

　（２）特色

　（３）検討課題

　（４）勧告

**＜質問事項＞**

**＜実地調査の際に閲覧を希望する資料＞**

**５　学生支援**

＜修学支援・生活支援＞

【評価の視点 5-1】学生生活に関する相談・支援体制を整備し、適切に支援していること。

【評価の視点 5-2】学生の自主的な学習を促進させる取り組みの支援、学生の能力に応じた補習・補充教育を実施していること。

【評価の視点 5-3】障がいのある学生、留学生など多様な学生への支援体制を整備し、実施していること。

【評価の視点 5-4】学生生活の安定のために、奨学金その他の支援制度を整備していること。

【評価の視点 5-5】心身の健康、保健衛生等に係る相談等に適切に対応するためにカウンセリング等の指導相談体制を整備し、実施していること。

【評価の視点 5-6】学生の人権を保障し、ハラスメントの防止に十分に配慮していること。

＜進路支援＞

【評価の視点 5-7】進路支援に関する組織体制を整備して、進路選択に関わる指導・ガイダンス等を適切に実施していること。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 評価の 視点 | 自己評価結果 | 評価者による評価結果 | | 自己評価と第三者評価判定が一致しない理由 　　書面再評価を必要とする理由 |
| 評点 | 評点  ・保留 | 書面 再評価 |
| 5-1 |  |  |  |  |
| 5-2 |  |  |  |  |
| 5-3 |  |  |  |  |
| 5-4 |  |  |  |  |
| 5-5 |  |  |  |  |
| 5-6-1 |  |  |  |  |
| 5-6-2 |  |  |  |  |
| 5-7 |  |  |  |  |

**＜概　評＞**

**＜提　言＞**

　（１）長所

　（２）特色

　（３）検討課題

　（４）勧告

**＜質問事項＞**

**＜実地調査の際に閲覧を希望する資料＞**

**６　教育研究等環境**

＜施設・設備＞

【評価の視点 6-1】獣医学教育に必要な講義室、実習・実験室、研究室等の施設を整備していること。

【評価の視点6-2】獣医学教育研究に必要な学術情報資料を整備し、学生及び教員が適切に情報を入手できるよう対応を行っていること。

【評価の視点6-3】動物実験倫理・動物福祉に配慮した実験動物の飼養に関する施設・設備を整備していること。

【評価の視点 6-4】動物実験倫理・動物福祉に配慮した動物実験に関する学内規則・飼養管理マニュアル等を整備していること。

【評価の視点 6-5】学内規則に従い動物実験に関して監督指導する委員会を設置していること。

【評価の視点 6-6】病原体等利用実験の法律等に基づいた学内規則・管理マニュアル等を整備していること。

【評価の視点 6-7】学内規則に従い病原体等利用実験に関して監督指導する委員会を設置していること。

【評価の視点 6-8】遺伝子組換実験の法令に基づいた学内規則・管理マニュアル等を整備していること。

【評価の視点6-9】学内規則に従い遺伝子組換実験に関して監督指導する委員会を設置していること。

＜各獣医学教育組織が設置する必要がある施設・設備＞

【評価の視点6-10】附属獣医学教育病院の施設・設備を参加型臨床実習等の教育に活用できるように整備していること。

【評価の視点6-11】附属獣医学教育病院で実施する参加型臨床実習及び日常の診療・教育等に必要な専任教員と臨床教員（教員）、及び病院専任獣医師、研修獣医師と動物看護師等の支援スタッフ（スタッフ）を配置していること。

【評価の視点6-12】附属獣医学教育病院で参加型臨床実習等のために十分数の患畜（症例）を診療していること。

【評価の視点6-13】附属獣医学教育病院において参加型臨床実習等を適切に実施していること。

【評価の視点6-14】附属獣医学教育病院が、獣医学教育（学士課程）の実施のために十分に活用されていること。

＜各獣医学教育組織が選択して設置することが望ましい附属施設＞

【評価の視点6-15】大学ごとに特徴ある附属施設を有しているか。

＜研究倫理や研究・診療活動の不正防止＞

【評価の視点6-16】研究倫理や研究・診療活動の不正防止に関する規定を明文化していること。

【評価の視点6-17】研究倫理や研究・診療活動の不正防止に関する適切な組織のもと、これらに関わる教育を行うなど研究倫理や研究・診療活動の不正防止の遵守を図っていること。

＜国際性を踏まえた教育環境の整備＞

【評価の視点6-18】学生の海外派遣及び受け入れを適切に行っていること。

【評価の視点6-19】当該獣医学教育におけるグローバル化を推進するための積極的な取り組みを行っているか。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 評価の 視点 | 自己評価結果 | 評価者による評価結果 | | 自己評価と第三者評価判定が一致しない理由 　　書面再評価を必要とする理由 |
| 評点 | 評点  ・保留 | 書面 再評価 |
| 6-1 |  |  |  |  |
| 6-2 |  |  |  |  |
| 6-3 |  |  |  |  |
| 6-4 |  |  |  |  |
| 6-5 |  |  |  |  |
| 6-6 |  |  |  |  |
| 6-7 |  |  |  |  |
| 6-8 |  |  |  |  |
| 6-9 |  |  |  |  |
| 6-10 |  |  |  |  |
| 6-11 |  |  |  |  |
| 6-12 |  |  |  |  |
| 6-13 |  |  |  |  |
| 6-14 |  |  |  |  |
| 6-15 |  |  |  |  |
| 6-17 |  |  |  |  |
| 6-18-1 |  |  |  |  |
| 6-18-2 |  |  |  |  |

**＜概　評＞**

**＜提　言＞**

　（１）長所

　（２）特色

　（３）検討課題

　（４）勧告

**＜質問事項＞**

**＜実地調査の際に閲覧を希望する資料＞**

**７　社会連携・社会貢献**

＜社会連携・社会貢献＞

【評価の視点7-1】生涯学習の機会を提供するため、獣医師を対象とした学術講習、研修等を実施していること。

【評価の視点7-2】生涯学習の機会を提供するため、一般市民を対象とした公開講座等を実施していること。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 評価の 視点 | 自己評価結果 | 評価者による評価結果 | | 自己評価と第三者評価判定が一致しない理由 　　書面再評価を必要とする理由 |
| 評点 | 評点  ・保留 | 書面 再評価 |
| 7-1-1 |  |  |  |  |
| 7-1-2 |  |  |  |  |
| 7-2 |  |  |  |  |

**＜概　評＞**

**＜提　言＞**

　（１）長所

　（２）特色

　（３）検討課題

　（４）勧告

**＜質問事項＞**

**＜実地調査の際に閲覧を希望する資料＞**

**８　点検・評価、情報公開**

＜自己点検・評価＞

【評価の視点 8-1】自己点検・評価体制を整備していること。

【評価の視点8-2】自己点検・評価及び第三者評価の結果を改善に繋げる仕組みを整備していること。

＜情報公開＞

【評価の視点 8-3】獣医学教育課程のウェブサイトを整備していること。

【評価の視点 8-4】学生に教育に関する情報を適切に公表していること。

【評価の視点 8-5】教職員に教育に関する情報を適切に公表していること。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 評価の 視点 | 自己評価結果 | 評価者による評価結果 | | 自己評価と第三者評価判定が一致しない理由 　　書面再評価を必要とする理由 |
| 評点 | 評点  ・保留 | 書面 再評価 |
| 8-1-1 |  |  |  |  |
| 8-1-2 |  |  |  |  |
| 8-3 |  |  |  |  |

**＜概　評＞**

**＜提　言＞**

　（１）長所

　（２）特色

　（３）検討課題

　（４）勧告

**＜質問事項＞**

**＜実地調査の際に閲覧を希望する資料＞**

**＜実地調査の際に見学を希望する施設・設備＞**

**＜実地調査の際に見学を希望する授業＞**

**[総合評価]**

**〈認定の可否〉**（　可　　否　）

**〈総　評〉**

以　上